



## 上田 藍 AI UEDA

所属：ペリエ・グリーンタワー・  
ブリヂストン・稲毛インター

居住地：千葉県  
出身地：京都府  
生年：1983年

1983年京都生まれ。中学は競泳選手、高校では陸上選手として活躍後、高校2年の冬にトライアスロンに転向。山根英紀コーチに指導を受けるため、京都から千葉へ拠点を移す。

日本トライアスロン界の第一人者として、2008年・2012年・2016年オリンピック代表、2014年仁川アジア競技大会で個人・混合リレーともに金メダルを獲得、2016年に世界選手権で5位に入賞しその年の世界シリーズ年間ランキングで3位(アジア初)に入るなど世界を舞台に活躍を続け、2020年には現役選手としてIF/NFの理事に就任。国内外の組織運営に携わるとともに、トライアスロン競技の普及と発展に寄与している。

2021年時点、日本選手権7度優勝、9度のNTTジャパンランキング年間チャンピオンに輝く(いずれも日本女子最多記録)。

### 主な国際大会代表歴

- 2008 北京オリンピック(個人・17位)
- 2012 ロンドンオリンピック(個人・39位)
- 2016 リオオリンピック(個人・39位)
- 2006 ドーハアジア競技大会(個人・銀)
- 2014 仁川アジア競技大会(個人/混合・金)
- 2014 プーケットアジアビーチゲームス(個人/混合・金)

Official Site

Twitter

Instagram

# アスリートが取り巻く環境、 さらに自然環境を豊かにしていけるよう 活動していきます。

### IF理事/NF理事として組織運営に参画

- 日本オリンピック委員会アスリート委員会 委員(2017年5月～)
- ワールドトライアスロン 理事(2020年1月～)
- 日本トライアスロン連合 理事(2020年6月～)
- JTUアスリート委員会 委員長(2019年12月～) ほか



トーマス・バッハ国際オリンピック委員会(IOC)会長と東京2020選手村を視察(2020年11月20日)

### 豊富な競技実績・キャリア

- 国際公式大会 209試合出場
- 表彰台 51回(24%)
- 優勝 21回(10%)

\*日本人歴代最多



2016年 世界シリーズ年間ランキング3位(アジア最高位)



2019年 ワールドカップ4大会優勝(写真は宮崎W杯)

### オリンピックムーブメントの推進

オリンピックデーラン、オリンピック教室など、これまで10年以上ほぼ毎年欠かさず参加。競技力向上の環境整備に留まらず、アスリートの立場からオリンピックの価値を高める取り組みに注力。



2016オリンピックデーラン長野大会にゲストオリンピックとして参加(2016年11月3日)